

世界遺産登録推進シンポジウム2022

# 立山砂防 防災遺産 シンポジウム

— 日本固有の防災遺産 立山砂防の  
防災システムを世界遺産に —

令和4年

開催  
日時

12月4日

13:30 → 17:00 (開場 12:30)

会場

富山国際会議場メインホール  
富山県富山市大手町1-2

## PROGRAM

### 基調講演

「防災遺産 立山砂防の価値とその評価」

伊東 孝氏 (産業遺産情報センター研究主幹、  
日本イコモス国内委員会「技術遺産小委員会」主査)

### アニメ映像上映

「立山砂防・土砂との闘い  
～世界に誇る防災遺産～」

### 報告

「富山県の立山砂防の  
世界文化遺産登録に向けた取組み」

### パネルディスカッション

#### コーディネーター

西村 幸夫氏 (日本イコモス国内委員会顧問)

#### パネリスト

松浦 晃一郎氏 (第8代ユネスコ事務局長)

伊東 孝氏 (産業遺産情報センター研究主幹、  
日本イコモス国内委員会「技術遺産小委員会」主査)

大野 宏之氏 (一般社団法人全国治水砂防協会理事長、  
公益社団法人砂防学会会長)

西川 英佑氏 (関西大学助教)

募集定員 500名

参加無料

要事前申込

〈会場参加〉  
富山国際会議場 (定員200名)  
〈オンライン参加〉  
本シンポジウムは、生配信いたします  
(定員300名)

ご来場の際は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、マスクの着用や手指消毒などにご協力ください。  
(厳守いただけない方および症状の疑いのある方は、会場への入場をお断りする場合がございますのであらかじめご了承ください。)  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、開催の中止またはプログラムの変更等を行う可能性がありますので、予めご了承ください。

主催／富山県世界遺産登録推進事業実行委員会 (事務局) 富山県地方創生局観光振興室世界遺産・ふるさと教育推進課、土木部砂防課、教育委員会生涯学習・文化財室

白岩堰堤  
(重要文化財)



# 立山砂防防災遺産シンポジウム

—日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に—

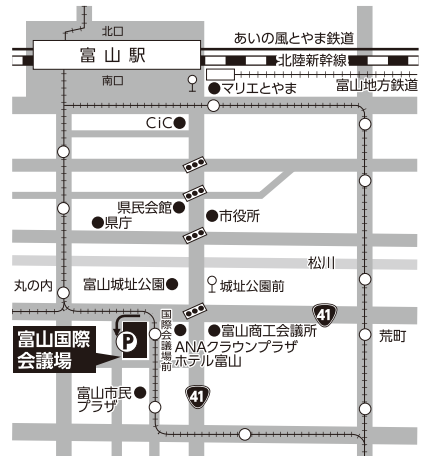
**開催日時** 令和4年12月4日(日) 13:30~17:00 (開場12:30)

**会場** 富山国際会議場メインホール 富山県富山市大手町1-2

※富山駅から城址大通りを南へ徒歩約15分 ※富山駅から富山地鉄バス「城址公園前」下車徒歩約3分

※富山駅から市内電車(環状線「国際会議場前」)下車。

※公共交通機関での来場をお勧めします。



## 開催趣旨

富山県は、日本イコモス国内委員会によって「日本の20世紀遺産20選」に選定された立山砂防の歴史的砂防施設群の世界遺産登録を、関係機関や民間団体等と連携協力しながら目指しています。

このシンポジウムでは、立山砂防の世界遺産登録に向けた評価を確立するため、世界遺産の最前線で活躍する専門家による防災遺産としての立山砂防の価値や評価についての講演やこれからの世界遺産に求められる価値についてのパネルディスカッションとおして、立山砂防の顕著な普遍的価値を広く発信します。



国土地理院の基盤地図情報標高10mメッシュを使用

## 立山砂防の防災システム (立山カルデラの歴史的砂防施設群)

富山県の立山には、世界に類を見ない降水量に加えて、膨大な崩壊土砂が堆積する立山カルデラが存在します。この厳しい自然環境の中に、長年にわたり崩れを防ぎ、流れ出す土砂を止め、下流の富山平野に住む人々を土砂災害から守り続けてきた立山カルデラの歴史的砂防施設群が存在します。これらは、溪岸や山腹を安定させることで、植生回復にも寄与しています。

平成29(2017)年11月に、常願寺川水系を一体的に治める治水対策の礎となった施設であり、わが国の治水史上、価値が高いとして、すでに指定されていた白岩堰堤に本宮堰堤と泥谷堰堤を加え、「常願寺川砂防施設」として、国の重要文化財に指定されました。



本宮堰堤(重要文化財)▲



泥谷堰堤(重要文化財)▲



泥谷堰堤には、第14代富山県知事をつとめた浜田恒之助の揮毫とされる「護天蓋(てんがいをまもる)」の石碑があります。

「天涯」とは「天のはて。極めて遠く隔たったところ。」この碑は「人里はるか隔たった立山カルデラにおいて砂防事業を行い、土砂流出による被害から下流の富山平野を守る気概」を記しています。

◀護天涯の碑

## 参加申込方法

### ① 専用サイトからのお申込み

<https://tateyama-sabo.jp>



### ② 郵送またはFAXでのお申込み

はがきまたは下記様式に、参加方法(会場での参加、オンラインでの参加)、郵便番号、住所、氏名、電話番号、メールアドレス、参加人数(1回のお申込みで4名まで)をご記入の上、お申込みください。

**11月18日(金)必着**

### お申込み・お問合せ先

〒930-0094 富山市安住町2-14-3F

北日本新聞開発センター「立山砂防防災遺産シンポジウム」係

TEL 076-445-3588 ※平日(月~金) 10:00~17:00、休/土・日・祝 FAX 076-431-1915

※ 会場参加=応募多数の場合は抽選とし、参加者には聴講券を郵送します。

※ オンライン参加=参加者にはLIVE配信先URLをメールにてお送りします。

※ 聴講券、メールは①の方にまとめて送付します。

※ 個人情報、本シンポジウムの運営およびCPDの認定のみに使用いたします。

※ 本シンポジウムはCPD認定申請を予定しています。

(切り取り線)

**申込み用紙** 世界遺産登録推進シンポジウム2022 立山砂防防災遺産シンポジウム —日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に—

会場参加  オンライン参加 (いずれかにチェックしてください)

住所 〒	—	電話番号	—
所属		配信先URL	
ふりがな		送付用メールアドレス	
氏名 ①	②	③	④

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、開催の中止またはプログラムの変更等を行う可能性がありますので、予めご了承ください。